

ギリシアの思想

- | | | |
|------|--|----------------|
| 1 A | 「知を愛する」という意味のギリシア語で、古代ギリシアの思想家が尊んだ真理探求の態度を何というか。 | フィロソフィア |
| 2 A | 事物を理性的に観察し、その本質や客観的真理を探求しようとする態度を何というか。 | テオリーア(観想) |
| 3 A | ことば・理性・理法・論理といった意味をもち、パトスやミュートスと対置されるギリシア語を何というか。 | ロゴス |
| 4 B | 外部からの刺激を受けて生じる人間の精神的変化のことで、理性に対して感情を意味することばを何というか。 | パトス |
| 5 C | 真理や真の知に対して、思いこみを意味するギリシア語を何というか。 | ドクサ |
| 6 C | アリストテレスが『形而上学』のなかで、哲学はこれによってはじまると語ったことばを何というか。 | 驚異(驚き) |
| 7 C | ギリシア文化発展の一因であり、学校という英語の語源ともなった閑暇(ひま)というギリシア語を何というか。 | スコレー |
| 8 B | 本来は混沌(カオス)に対して秩序を意味し、世界・宇宙という意味をもつギリシア語を何というか。 | コスモス |
| 9 A | 古代ギリシアの国家のことで、多くは城壁で囲まれた都市と周辺の農地からなりたつ都市国家のことを何というか。 | ポリス |
| 10 B | ギリシアの都市国家の構成要素の一つで、市場が立ったり人びとが議論しあったりした広場のことを何というか。 | アゴラ |
| 1 A | 宇宙や国家や人間の誕生をはじめとして、神や半神や英雄などを中心に描かれた物語を何というか。 | 神話(ミュートス) |
| 2 A | トロヤ戦争に関する二つの叙事詩の作者で、古代ギリシアの代表的詩人は誰か。 | ホメロス |
| 3 B | トロヤ戦争の攻防を神々の意図と英雄アキレウスの活躍とを中心に描いた、ギリシア最古の叙事詩を何というか。 | 『イリアス』 |
| 4 B | トロヤ戦争に勝利したのち、ギリシア軍の英雄が故国に帰りつくまでの冒険談を描いた叙事詩を何というか。 | 『オデュッセイア』 |
| 5 B | 宇宙の誕生や神々の系譜を描いた『神統記』や、当時の農民の生活を歌った『仕事と日々』の作者であるギリシアの詩人は誰か。 | ヘシオドス |
| 6 C | アイスキュロス、ソフォクレス、エウリピデスなどが、神話を題材に不条理な運命に苦悩する人びとを描いた古代ギリシアの演劇を何というか。 | ギリシア悲劇 |
| 7 C | 「技芸は長く、人生は短い」ということばで知られている、前5世紀ごろのギリシアの人物で、医学の祖といわれている人物は誰か。 | ヒポクラテス |
| 8 A | 自然の生成変化や構造を神話的な解釈によらず、理性(ロゴス)によって根源的に探求しようとした学問を何というか。 | 自然哲学 |
| 9 A | 自然哲学者たちが求めた、世界の根本的な原理あるいは始源をギリシア語で何というか。 | アルケー |
| 10 B | 小アジアのギリシアの植民都市を中心とする地方に生まれた自然哲学の一派を何というか。 | ミレトス学派(イオニア哲学) |
| 11 A | 神話的解釈によらず、世界の根源を経験的事実によって説明しようとし、アリストテレスによって哲学の祖とよばれた前7世紀ごろのミレトス出身の哲学者は誰か。 | タレス |
| 12 A | 世界を構成する根源(アルケー)について語ったタレスのことばは何というか。 | 「万物の根源は水である」 |
| 13 C | 万物の根源を「無限定なるもの(ト=アペイロン)」としたミレトス学派の哲学者は誰か。 | アナクシマンドロス |
| 14 C | 万物の根源を「空気(アエール)」と考え、その濃厚化と希薄化によって世界を説明しようとしたミレトス学派の哲学者は誰か。 | アナクシメネス |

15 A	南イタリアに宗教教団を設立し、魂の平安と数学との関係を考察して、万物の根源を「数」とした前6世紀ごろの哲学者・宗教家は誰か。	ピタゴラス
16 A	万物の根源を「火」であるとし、それによって生成変化する世界の理法(ロゴス)を論じた、前6世紀ごろの孤高の哲学者は誰か。	ヘラクレイトス
17 A	この世のすべての事物は変化しとどまることはないとする、ヘラクレイトスの思想をしめすことばは何か。	「万物は流転する(パンタ＝レイ)」
18 C	有るもののみが有り、有らぬものは有らぬとして、運動や変化を否定した前6世紀ごろのエレア派の哲学者は誰か。	パルメニデス
19 C	万物の根源を土・水・火・空気の四つと考えた、前5世紀ごろの哲学者は誰か。	エンペドクレス
20 A	この世界は絶えず運動するこれ以上分割不可能な原子からなっていると考えた、前4世紀ごろのトラキアの哲学者は誰か。	デモクリトス
21 A	デモクリトスやレウキッポスによってとなえられた、すべての現象は極小物質であるアトムによる空虚(真空)の中の運動であるという思想を何というか。	原子論